

「中山間地の子育てについて」

～津山市阿波地区と笠岡市真鍋島との交流を通じて～

社会福祉学科 有岡道博

（１）調査・研究の内容

これまでの経過

平成 24 年度からの調査活動により、本土では少なくなった子育てのできる地域社会が二つの島に残っており、自然をはじめとして子育て環境も豊かであることを明らかにした。しかし、子ども達に、世代構成の中で抜け落ちている若者（20 代から 30 代）との交流体験が乏しいこと、同級生が少なく子ども集団としての社会体験の少ないことが課題としてあがった。

そのため、平成 28 年度より調査活動の方法を、住民と協働して地域課題を調査しながら解決する「アクションリサーチ」に変更し、学生との集団活動や他地域の子どもの集団活動をおこなった。

活動目的

- ① 現地踏査を基本として、積極的に地域住民・子どもと話し合いを行ないながら、地域課題の解決に向けてともに協働して取り組んでいくアクションリサーチを展開する。
- ② 保護者には、本土の子どもや保護者との交流を通して島の良さを再発見し、島の子育てについて自信を持っていただく。
- ③ 子どもたちにとっては、他の地域の子ども（津山市阿波）と交流することによって、社会経験を深め、島について新たな視点から考える機会とする。
- ④ 学生にとっては、実践活動を体験することによって社会調査に関する技術・知識を身に付ける場とする。また、岡山大学を始めとする他大学の学生と、キャンプの実行委員会を通して企画運営を行うことにより、連携する力を身に付ける。

活動内容

- 5 月 ・島の大運動会（27 日）
- 6 月 ・キャンプ実行委員会議（14 日）岡山市内
 - ・キャンプ下見（17 日）真鍋島
 - ・スイセン植えるカムツアー（17 日）六島
 - ・キャンプ実行委員会議（28 日）ネット会議
- 7 月 ・キャンプ実行委員会議（12 日）岡山市内
 - ・キャンプ現地打ち合わせ（26 日）真鍋島
 - ・キャンプ実行委員会議（30 日）岡山市内
- 8 月 ・キャンプ実行委員会議（19 日）岡山市内
 - ・キャンプだよ！全員集合 in 真鍋島（25 日・26 日）
- 10 月 ・六島大鳥神社祭り（7 日・8 日）六島
 - ・オクトーバーフェスト（20 日・21 日）六島
- 11 月 ・アイランダー2018（17 日・18 日）（研修）東京

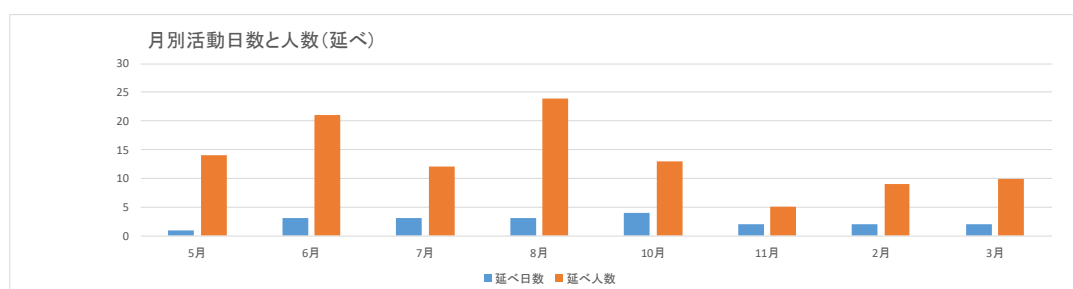


- 2月 ・一般社団法人つばさ研修(12日)
- 3月 ・活動報告 六島(1日)
- ・次年度キャンプ下見 (1日)
- ・一般社団法人つばさ研修(12日)

活動の概要

平成30年度 活動日数・参加人数・内容

	5月	6月	7月	8月	10月	11月	2月	3月
延べ日数	1	3	3	3	4	2	2	2
延べ人数	14	21	12	24	13	5	9	10
内容	大運動会	水仙ウエルカムツアー キャンプ下見 No.1キャンプ実行委員会 No.2キャンプ実行委員会 (ネット会議)	No.3キャンプ実行委員会 キャンプ現地打ち合わせ No.4キャンプ実行委員会	No.5キャンプ実行委員会 島っ子キャンプ	回し神輿 オクトーバーフェスタ	アイランダー2018 (研修)	つばさ研修会 活動報告会	活動報告六島 つばさ研修会



主な活動について

1. 島の大運動会

場所：笠岡市白石島

日時：5月27日(日)

参加者：約500名 学生14名 教員1名

活動の課題：笠岡諸島の人が集まる交流の場を作る

内容：毎年、笠岡諸島の住民、出身者、本土の人が交流する場として

運動会を行なっている。今年度は広い砂浜のある白石島で行なわれ、砂浜を利用したビーチフラッグやビーチバレーなど島の特色を生かした競技で楽しんだ。学生は子ども達や大人とともに競技に参加するとともに、子供向けの行事(宝探し)の運営に協力して1日島民との交流に努めた。



2. スイセン植えるカムツアー

場所：笠岡市六島

日時：6月17日(日)

参加者：約50名 学生9名 教員1名

活動の課題：観光の促進と島外との交流

内容：スイセンで有名な六島のスイセンを植え、島内外の人と

交流する行事に参加した。島民、島外の人が混じり、山の斜面に穴を開けスイセンの球根を植え、スイセンの繁殖地を広げて行った。植え付け後は島民の方との交流や島内の散策を行なった。学生は子どもたちとともに運営の準備を手伝った。



3.キャンプだよ！Let'sGo！in真鍋島

場所：笠岡市真鍋島

日時：8月25日（土）～26日（日）

参加者：51名

子ども24名（阿波10名 島14名）

保護者7名

学生19名（美作12名 岡大5名
同志社1名 清心1名）

教員1名

1日目		2日目	
6：30	阿波発	6：00	起床
11：00	開会式	7：30	朝食
12：00	昼食	8：30	ウォークラリー
13：00	海水浴	11：30	昼食
17：30	バーベキュー	12：30	片付け
19：30	キャンプファイヤー	13：30	閉会式
22：00	就寝	18：00	阿波着

活動の課題：阿波と島の子どもたちが共にキャンプをすることによって、普段交流することがない子ども達が、グループで協働して活動を行なう機会を提供する。

課題解決に向けて

①グループ設定

グループの設定を縦割りとして、阿波の子ども、島の子どもを均等になるように配慮した。

②活動の工夫

○グループで行なう活動を多く設定した。

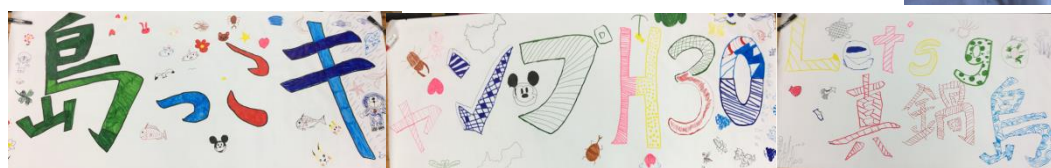
アイスブレイクのレクゲーム 砂浜でのレクゲーム キャンプファイヤーの出し物 朝食作り ウォークラリー

○自由な時間を多く設けた

グループで工夫してレクやゲームを楽しむことができていた。

○全員で一つのものを作る

グループごとに横断幕を作成し、それを一つにして最後に記念撮影を行った。



活動の成果

子どもたち自身が協力して活動を行い、学生と共に遊ぶ姿が見られた。縦割りのグループにしたことにより、年上の子どもは責任感が生まれ、年下の子どもは素直に協力することができたためと思われる。

保護者にとっても、子ども達の行動は好意的に受け止められ、自らの子育てについても自信が持てたのではないかとと思われる。

学生にとっても、自らが企画した活動に子どもたちが楽しく参加するのを見て、達成感を味わう事ができていた。また、直接子ども達と行動することによって、子どもとかかわることの楽しさを味わうこと



ができていた。

4.六島大鳥神社祭礼廻し神輿

場所：笠岡市六島

日時：10月7日（日）～8日（祝）

参加者：約60名 学生1名 教員1名

活動の課題：高齢化と若者の減少

内容：六島にある大鳥神社の祭礼に参加した。お神輿を担ぎ海の中で回したり、島内を練り歩いたり、船に載せ島を一周した。場所によっては神楽や獅子舞があり、

1日をかけて行なう伝統行事である。現在、担ぎ手が島内に少なく、島の出身者や島に関心のある人が協力して行なっている。学生は担ぎ手として参加し、祭りを体験すると共に島の人と交流することができた。



5.六島オクトーバーフェスト

場所：笠岡市六島

日時：10月20日（土）10月21日（日）

参加者：島の内外の方 約400名程度

学生9名 教員1名

活動の課題：来島者を増やすための観光の活性化

内容：島の麦で作ったビールや、島の名産品などを販売し、島外より多くの人に島に来ていただき、島を知っていただくことにより観光の促進を行う。

学生は各ブースの販売員をつとめ、ビールを売ったり、焼き鳥を焼いたりなどを行った。また、片付けなども行い、60人しかいない島民に混じって行事の進行を援けた。また、その過程で話をする時間もあり、島の生活をうかがい知ることができた。



調査・研究の成果

今年度は、昨年に引き続き真鍋島、六島を中心に活動することによって、島の人たちに刺激を与えると共に、考え・活動しながら調査をする「アクションリサーチ」の視点を意識してイベントの手伝いや参加、独自行事の企画実施を行なった。活動を通して、島の住人の方との交流を深め島おこしのお手伝いをを行い、子どもたちがキャンプを通して体験し学ぶ場を提供することができたと考えている。

また、学生としては、普段触れることのできない島特有の文化に触れることができ、興味関心を深めるとともに、島での地域のつながりについて学ぶことができた。今後もこのような活動を続けていくことによって、島とのつながりを強め両者の成長や関係の深化を図っていきたい。

次年度についても、島に少ない若者世代として、学生が島の大人や子ども、高齢者と一緒に課題を検討し、解決に向けた取り組みを実践していきたい。特に子ども達の自主性を伸ばすような体験の場を提供していく。